



国立研究開発法人
国立国際医療研究センター

NCGM

National Center for Global Health and Medicine

国府台

発行人 〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立国際医療研究センター国府台病院長 上村 直実
TEL:047(372)3501 FAX:047(372)1858

2016. 8月

第32号



[市川市民納涼花火大会]

毎年8月第1土曜に行われる、市川市の夏の風物詩である花火大会です。江戸川区の『江戸川区花火大会』と同時開催で行われます。

目次

◇地域医療連携病院のご紹介	2
◇第1回 院内感染対策研修会	2
◇職場紹介 (治験管理室)	3
◇院内サービス部門のご案内 (デイリーヤマザキ)	3
◇第22回 肝臓病教室の開催報告	4
◇第17回 オープンカンファレンス	4
◇児童精神科の行事	5
◇七夕飾り	5
◇第23回 肝臓病教室のご案内	5
◇人命救助で表彰	6
◇栄養一口メモ	6
◇編集便り	7

地域医療連携病院のご紹介

旧「吉田クリニック」は平成7年に吉田 忍先生が当地に開設されました。

大学の医局、研究室で親しくさせて頂いていたご縁で、平成14年に施設とスタッフを継承し私が開設者となりました。

(吉田先生は静岡の実家の医院を継承)

「患者さん第一主義」の開設時の精神を引き継ぎ「吉田クリニック」の看板を変えずに地域医療を担う家庭医としてあるべく日々、診療を続けております。私たちの専門は消化器外科でしたので、外科一般と消化器領域を中心として、生活習慣病を含めた広い範囲のプライマリーケアが診療対象となっています。



吉田クリニック 院長 忠岡 信彦

国立国際医療研究センター国府台病院には、日頃より多くの患者さんのご依頼を通じて大変お世話になっております。専門性の高い分野ばかりでなく、慢性疾患の指導に



いたるまで患者さんの立場にたった親切丁寧な対応をして頂いており、心より感謝申し上げます。地域の研究会や学会などでお会いすると、どの先生方からも地域医療に対する真摯な熱意が感じられ頼もしいかぎりです。最近は救急症例にも対応して頂ける機会が多くなりました。今後も地域医療を担う拠点病院として頼りにさせて頂きたいと思っております。どうぞ今後もご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

住 所：千葉県市川市東国分2-1-4

電 話：047-375-2930

診 療 科：消化器科、内科、外科

診療時間：平日：9:00~12:00 15:00~19:00

土 日：9:00~12:00 休診：木曜、祝日

交 通：京成電鉄本線 市川真間駅 車7分

第1回院内感染対策研修会

感染制御部会では年に2回、全職員を対象に院内感染対策研修会を行っています。院内感染対策研修会は、国内外で注目されている感染症や季節性の食中毒・インフルエンザ等、日常診療に活かせるような内容を選択しています。

8月は夏休みシーズンを迎え、海外旅行をする人が増える時期です。年間で出国日本人は約1621万人、訪日外客数は約1970万人と言われています。この数字からも、輸入感染症にいつ自分たちがかかるか分からない、日本で流行するかわからない状況にあります。当院は千葉県という立地からも、常に海外からの輸入感染症の患者さんが受診する可能性があります。

そこで今回は、7月25日に第1回院内感染対策研修会として国立国際医療研究センター国際感染症センター長の大曲貴夫先生を講師にお招きして「リオ五輪！夏休み前に知っておきたい海外で注意すべき感染症とその対応」というテーマで講義をして頂きました。2014年の代々木公園で感染したと考えられるデング熱は記憶にある人も多いと思いますが、その他、ジカ熱、MERS等の国内外の症例をもとにお話し頂きました。デング熱、ジカ熱等の蚊を媒介とする感染症に関しては、まず蚊に刺されない事が重要であり、虫除けスプレーを使用することや、服装に気をつける事などすぐにできる予防法をご講義下さいました。特に、国内で販

感染管理認定看護師 奥寺 佳緒理

売されている虫除けスプレーは濃度が低いいため、2~3時間毎に塗り直しが必要など、適切に使用することが重要であることを改めて学ぶ機会となりました。

そして、「その時は

急にやってくる！」輸入感染症は今や他人事ではなく、いかに平常時の準備が大切かを学んだ研修会でした。当院では、今年10月に市川保健所と合同で、新型インフルエンザの患者さんが入院してくることを想定した、緊急対応訓練を実施します。国府台病院は、新型インフルエンザや輸入感染症が市川周辺の地域で流行した場合に患者さんの受け入れを要請されています。今回学んだことをもとに輸入感染症について関心を高め、平常時から対応できる体制を整えていきたいと思っております。

皆さんも海外へ旅行される際には、外務省や厚生労働省のホームページを参考に旅行先の情報に注意して感染症を予防し、旅行を楽しんで下さい。



職 場 紹 介 ～今回は、治験管理室を紹介します～

当院の治験管理室は2000年10月に設置されました。治験を行うにはGCP（Good Clinical Practice医薬品の臨床試験の実施の基準）という法律に基づいて行なわなければなりません。1997年に新しいGCPが制定されました。それ以前の日本における治験は国際的には信頼性が少なく、認められていませんでした。そこで医薬品開発に関して、国際的にも信頼されるデータが必須となり、主だった医療機関に、治験業務をサポートする治験コーディネーター（Clinical Research Coordinator 以降CRCとする）が配属されるようになりました。CRCは依頼者、担当医師、被験者および家族、各関連部署との間を取り持つ役目を担っています。

現在では各国同時に開発にとりかかる国際共同治験も多くなり、当院でも例外なく9年前から実施しています。国際共同治験は日本国内だけの治験とは異なり、ICH-GCPという国際的なルールのもとで行なわれます、国際共同治験

治験主任 原田 めぐみ

では治験開始前に、CRCが規定のトレーニングを受けることが求められます。治験が始まるとWeb上での被験者の登録、Web上での治験薬割り付け、検体の海外発送、心電図の波形の送信を行います。また、全て英文の電子報告書を作成し、疑義照会があれば回答するなど、非常に手間がかかります。もちろん、日本国内だけの治験も実施していますが、最近では国際共同治験が増える傾向にあります。

現在進行中の治験と予定されている治験について下記に示します。2015年度に終了した13課題を総計すると、2016年7月現在までの実施課題数は25課題となります。さらに、10月までに新規の申請が3課題あります。これらのうち国際共同治験は5課題です。

また治験は、事務的な業務も煩雑で、ひとつの治験を行うのに治験開始前、実施中、終了時とそれぞれ膨大な資料が発生し、その書類の作成・管理も大変な作業となります。

治験管理室のメンバーは、室長（精神科医長）、室長補

佐（第一肝疾患室医長）、事務局長（副薬剤部長）、事務局次長（副看護部長）各1名、常勤CRC4名（薬剤師治験主任、薬剤師、看護師2名）、非常勤CRC2名（看護師）、非常勤事務2名を配置しGCPを遵守した質の高い治験を行えるよう支援しています。近年は契約プロトコル数が増え、CRCの負担はかなりのものになり、現在はSMO（Site Management Organization：治験施設支援機関）も配置しています。

治験は各関連部署が連携しながら行なわなければ出来ないものです。今後も治験業務に理解と協力をお願いします。



Kohnodai Hospital,
National Center for Global Health and Medicine

実施課題数		
疾患名	実施中の治験	今後の予定
統合失調症	5	
うつ病	1	1
小児注意欠如・多動症	1	1
肝炎	1	
2型糖尿病	3	1
高脂血症	1	

院内サービス部門のご案内 ～今回は、デイリーヤマザキを紹介します～

国府台病院では、患者さんや御家族の方々の利便性の向上を図るために、売店や食堂等サービス部門の充実にも力を入れています。今回は一般病棟1階にあるコンビニエンスストア デイリーヤマザキ国府台病院店を紹介します。

当店のおすすめは、「店内の厨房でつくるパン」と「淹れたてコーヒー」です。塩バターパンをはじめ、メロンパン・ベーコンエッグトーストが特に人気がありぜひ一度、召し上がって頂きたい商品です。毎月上旬には、新作のパンも発売されますので、ご期待頂けたらと思います。

管理専門職 藤橋 昇

また、厳選したコーヒー豆を使用した淹れたてコーヒーもご好評を頂いております。サンドイッチ・おにぎり・お弁当・麺類・パスタ・サラダ・揚物等も毎週火曜日に新商品が発売されますので、こちらもお楽しみになって頂きたいです。店内には、飲食できる席を7席、設けておりますので、ぜひご利用ください。これからも、私たちは良い商品と良いサービスを通じて患者さん、患者さんのご家族、職員の方々にご満足していただけるお店づくりを目指して参ります。



ホットコーヒー
（レギュラー）



塩バターパン
（アルプス岩塩使用）



こだわりの
メロンパン



ベーコン
エッグトースト



アイスコーヒー
（レギュラー）

営業時間

[平日] 7:00-20:00
[土日祝] 8:00-19:00

第22回 肝臓病教室の開催報告

平成28年 6月11日（土）に第22回肝臓病教室を開催しましたところ、86名の方にご参加いただきました。今回は、モニターがいくつもあって見やすいとの意見が多かった肝炎・免疫研究センター研修室にて行いました。



まず、古田先生より「肝硬変の食事・栄養療法について～肝臓の予防と悪化防止に向けた食事管理～」の講演がありました。古田先生は、昨年4月より、東邦大学医療センター大森病院に勤務されておりますが、皆様の要望が多かったことから、今回も無理にお願いして来ていただきました。肝硬変の中には症状（腹水、脳症など）を有する非代償性肝硬変と症状のない代償性肝硬変があり、その病態別に食事療法を考える必要性を述べられました。その中で、肝性脳症を併発している場合は、タンパク質の摂取を制限しなければなりません、その対策として、食品に含まれるたんぱく質を具体的に示していただき、実行しやすいたんぱく質の抑え方と肝性脳症を引き起こさないアミノ酸栄養剤との併用療法についてお話いただきました。なお、食事療法や補助食品の摂取の必要性については病態によって変わりますので、詳細は主治医とご相談下さい。



演者の古田

次に、考藤センター長より、「C型肝炎治療の現況～日本、アジア、世界～」の講演がありました。C型肝炎慢性肝炎・肝硬変における血液検査値の読み方のポイントをお示しになった後に、どのような患者さんで治療が必要なのかを説明されました。最近のC型肝炎の治療は、皆さんご存知のように、インターフェロンという注射剤は使用せず、飲み薬でほぼ1

第四肝疾患室医長 村田 一素

00%治る時代になった訳ですが、当院における治療状況とともに世界の動向まで触れられました。また、治療前の薬剤耐性ウイルス（薬に抵抗性を持ち、薬が効かないウイルス）検査の必要性、同時に服用すると効果が悪くなる薬（胃潰瘍や逆流性食道炎に対する薬<プロトンポンプ阻害剤>、不整脈の薬<アミオダロン>）の説明がありました。また、もしウイルスが再燃した場合の新しい薬のお話やウイルス排除後の経過観察の必要性（ウイルスが消えても癌が出る場合がある）など盛りだくさんの内容の講演でした。お二方とも難しい内容をかみ砕いて説明されたので、皆さんよく理解されたようです。



演者の考藤

次回、第23回肝臓病教室は平成28年9月17日（土）に今回と同じ肝炎・免疫研究センター研修室にて行います。講演内容は「肝炎治療と医療費助成制度～最新の治療と医療費助成制度～」、「B型肝炎の最新治療法」です。乞うご期待ください。

なお、この肝臓病教室に対する予約は必要ありませんので、気軽に多くの方に来ていただきたいのですが、予め参加人数を把握できません。そのために予想外に多くの方が参加された場合は資料が不足することがあり、その都度、慌ただしく準備しております。それを少しでも解消するために、肝臓病教室に参加される方限定で、受付時に院内食事処「あじげん」の10%お食事割引券をお渡しすることとしました。早めに来院して、院内でゆっくりランチを取られては如何でしょうか？

今後も皆様に役立ち、かつ病気に対する不安を解消させるような肝臓病教室を行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第17回 オープンカンファレンス

去る7月27日、第17回の国府台オープンカンファレンスが、当院の5階の講義室で開催されました。このカンファレンスも今年で5年目を迎えますが、今年度からは、近隣の先生方にもご講演をお願いし、相互交流を強化する取り組みを始めることとしました。

そのトップバッターとして、当センターのOBであります、吉野内科・神経内科の吉野英先生に「ALSの治療方法の開発」についてお話をいただきました。吉野先生が長年取り組んでこられた、難病のALS（筋萎縮性側索硬化症）の治療方法が認可されるまでの長年のご苦勞を拝聴し、たいへん勉強になりました。

また、当院からは泌尿器科吉田医師、外科小野医師、精神科白石医師、そして糖尿病・内分泌代謝科の三島医

企画経営・医療連携・広報部門長 今村 雅俊

師より症例報告があり、診療科の垣根を越えた有意義なカンファレンスになったものと思います。

今後も年3回のペースでこのオープンカンファレンスを開催していく予定ですが、近隣の先生方との交流をより盛んにする目的で、10月8日（土）には、市川グランドホテルで、『第1回 市川・国府台 地域医療フォーラム』を開催することが決まりました。地域の病診連携をさらに進め、ますます地域に貢献できる医療機関を目指してまいります。



児童精神科の行事

6月に入り、梅雨真只中、と同時に雨男、もしくは雨女がいるのか、今年の集団活動療養は雨に見舞われることが多かったようです。鋸山遠足も大雨にて順延、6月になりました。そして、キャンプレクリエーション6月28日の朝も、大雨でした。しかし、午後からは晴れるという天気予報を信じ、バスに乗り出発しました。

1日目、高尾山入口につくと、雨はあがり、登山にはちょうどいい気候となっていました。初めて山を登るといふ患児もいましたが、全員登ることが出来、患児の笑顔が輝いた体験でした。さらに中学3年男子は、男を磨くために嵐山登山にも挑戦しました。夜は、おなかいっぱいバーベキューを食べ、キャンプファイヤー



東3病棟 看護師長 多田 時江

では、みんなで火を囲み、フォークダンスを踊りました。そのあとは、スイカ割り、「みぎ、みぎ」「まっすぐ」「そこそこ」とみんなの嘘か本当かの言葉通りに足を運び、大きな笑い声が山に響いていた時間でした。



楽しい時間もあっという間で、疲れきった患児たちはテントで、熟睡でした。

翌日6月29日、曇り空でしたが、雨は降らず、今年は横浜ズーラシア動物園に行きました。グループ毎に見たい動物のエリアを周り楽しみ、最後は、家族や自分へのお土産を買いました。多くの経験を積むことが出来、自信という素敵な力がついたキャンプレクリエーションになったのではないかと思います。

七夕飾り

当院では毎年七夕の時季に合わせて、外来患者さんや入院患者さん達が短冊に願いを書くことで季節や癒しを感じていただくために正面玄関や病棟等に笹を設置しています。今年も、色鮮やかな折り紙で飾りつけをされた笹にはいっぱい短冊が結ばれました。

ところで、七夕と言えば笹飾りと織姫彦星などを私は連想しますが、ふと短冊の願いは誰に対して願っているのか考えてみると、子供のころに「お星さまに」と思い込んだまま、考えたことも調べたこともないことに気づきました。その気になればインターネットで何でも調べられる良い時代になったもので、「七夕」で検索すると聞いたこともない情報、聞いたかもしれないけれど全く記憶に残っていなかった情報がたくさん集まりました。

七夕の風習の起源はイエス・キリストが生まれる少し前

庶務係長 奈良 卓也

あたりの中国まで遡るようですが、いろいろな他の風習と混ざりながら、江戸時代ごろに日本の庶民に今の風習が広まった、とのことでした。



願いは「誰かに叶えてもらおう」というより「機織りの上手な伝承の人物にあやかって芸能の上達を願おう」というのが本来だったらしく、七夕にまつわる伝説の登場人物の誰かが願いを叶えてくれるのだろう、という自分の漠然とした思いは誤解と判明しました。長年誤解してきたことが情けなくもなりますが、調べれば大抵のことは簡単に知ることが出来る素晴らしい時代に感謝したいと思います。

第23回 肝臓病教室のご案内

日時：平成28年9月17日(土)
14:00~16:00
場所：国立国際医療研究センター国府台病院
肝炎・免疫研究センター研修室A

- ※ 予約は不要で、参加費は無料です。
- ※ 終了後に個別相談（肝炎、肝硬変、肝癌を中心に）も行います。
- ※ ご相談のある方は血液検査・CTなどの資料をお持ちいただくと、状態に応じた詳しい説明をお受けになれます。



お問い合わせ先
〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立国際医療研究センター国府台病院
肝炎・免疫研究センター 村田 一素
TEL: 047-375-4738

人 命 救 助 で 表 彰

4階南病棟 看護師 大曾根 有美

それはショッピング中の出来事でした。私が気付いた時には既に人集りの中に、心肺停止状態であろう女性が横たわっており、心臓マッサージが施されておりました。その光景を見た瞬間、「行かなくちゃ」と思うと同時に、自然とその中へ入り心肺蘇生に加わっていました。傷病者の状態を確認すると、呼びかけや刺激にも反応がなく、動脈の触知・呼吸共に確認できない状態であったため、



周囲の方と協力し合いながら蘇生を続けました。店員さんや周りで見えていた方々も、こちらが声を出せば動いてくださいました。救急隊が到着し

た瞬間はほっとはしましたが、直ぐに傷病者の状態を伝え、そこからは救急隊の方々と共に救護にあたりました。このような現場では、誰もが、何とかしないと・・・何かできないか・・・と考えているのだと思います。何をしたらいいのか分からずに立ち竦んでいる方への声掛けも、とても大切なことであると改めて感じました。

今回は、偶然私がこのような場面に遭遇しましたが、国府台病院の職員誰でもが同じように行動したでしょう。感謝状を戴けたことは誠に有難いことではありますが、私一人のものではありません。国府台病院で継続的に教育を受けさせていただき、諸先生方をはじめ先輩方からのご指導があったからこそその結果にすぎないのです。そして日々、沢山の学びの場を与えてくださっている患者様お一人お一人にも感謝の気持ちを忘れずに、今後とも精進していきたいと思っております。

栄 養 一 口 メ モ

副栄養管理室長 阿部 裕二

☆☆ 今回のテーマ 簡単レシピについて ☆☆



暑い日が続く、台所に立つのも一苦労な時期です。これから秋にかけて夏バテや残暑の疲れで体調を崩さないよう、バランスよい食事でお過ごしください。

さて、栄養管理室では簡単レシピを発行しています。「無駄なし・手間なし・簡単レシピ」と題して、毎月、旬の食材を取り上げて簡単にできるメニューを紹介しています。毎月1回発行しておりますので、ご希望の方は病院にいらした際にお持ち帰りください。配布している場所は正面玄関横、栄養指導室2か所、栄養管理室前となります。

「無駄なし・手間なし・簡単レシピ」

旬の食材：すいか、なす、とうもろこし

蒸し暑くて・・・食欲のない時でも
きちんと食べて夏バテ知らずの体をつくりましょう！！

<サラダうどん>

◇材料 (2人分)

- ・冷やしうどん (市販) ... ①
- ・ミトマト、ツ缶、ワカ、かつお節... ②
- (お好みでマヨネーズ、しゃぶしゃぶのごまだれ)
- ・きゅうりとなすの浅漬け ... ③



◇作り方

- 1、①②を盛り付ければ完成です。
- 2、③の夏野菜の浅漬けは水気を切って完成です。

★ 夏野菜は、体を冷やしてくれる作用があるので日焼けなどでほてった体をクールダウンしてくれますよ。

今回は簡単レシピ内の「旬の食材」として取り上げた「とうもろこし」についてご紹介します。

「とうもろこしは野菜ですか?」とよく相談を受けることがあります。答えは「炭水化物を多く含む野菜」が適切でしょうか。茹でて食べるようなスイートコーンは野菜と分類されています。一方、とうもろこしは穀物として扱われることもあり、「糖尿病食事療法のための食品交換表」ではご飯やパン、麺類、イモ類と同じグループで「その他の穀物」と分類されています。ちなみに、とうもろこし中ぐらいのサイズ1本(芯付き260g)は160kcal=白飯100g分に相当します。糖尿病などで食事管理をされている方は、管理栄養士のアドバイスのもとで適切な量を摂取することをお勧めいたします。

外 来 診 療 担 当 医 師 一 覧 表

国立国際医療研究センター

国 府 台 病 院

TEL 047-372-3501 (代表)

平成 28 年 9 月 1 日 現 在

診療科・曜日		月	火	水	木	金	
内 科 系	総合内科	吉川 玲政(総合) 増井 良則(総合)	津田 尚法(総合) 足立 洋希(総合)	張替 忠直(総合) 張谷 陽子(総合)	箱島 真理子(総合) 田中 真(総合)【第3】 濱崎 秀泰(総合)	川口 明子(総合) 酒匂 赤人(総合) 佐藤 輝彦(呼吸器)	
	呼吸器内科	杉山 温人(呼吸器)【第2】 飯倉 元保(呼吸器)【第3】 竹田 雄一郎(呼吸器)【第4】	関根 理恵子(血液疾患) 【第4】午前のみ 多田 真奈美(腎臓疾患) 【第1/3】午前のみ	佐藤 輝彦(呼吸器)			
	血液内科						
	感染症内科	菊池 嘉(感染症)【第2/4】 矢崎 博久(感染症)【第2/4】					
	腎臓内科		三島 修一(糖尿・内分泌) 【予約制】	三島 修一(糖尿・内分泌) 【予約制】	矢崎 博久(感染症)午前のみ 川口 明子(糖尿・内分泌)午前 【予約制】	足立 洋希(糖尿・内分泌) 【予約制】	
	糖尿科・内分泌代謝内科	森山 純江(糖尿・内分泌) 【予約制】	箱島 真理子(糖尿・内分泌) 【予約制】	濱崎 秀泰(糖尿・内分泌) 【予約制】	足立 洋希(糖尿・内分泌)午後 【予約制】	三島 修一(糖尿・内分泌) 【予約制】	
	リウマチ・膠原病科	柳内 秀勝(糖尿・内分泌) 猪熊 茂子(リウマ・膠原病)	狩野 俊和(リウマ・膠原病) 菱沼 留加(リウマ・膠原病)	増井 良則(リウマ・膠原病)	柳内 秀勝(糖尿・内分泌) 【予約制】	吉川 玲政(リウマ・膠原病)	
		フットケア外来(糖尿・内分泌)	フットケア外来(糖尿・内分泌)	フットケア外来(糖尿・内分泌)	フットケア外来(糖尿・内分泌)	フットケア外来(糖尿・内分泌)	
	消化器内科	上村 直実(消化器) 赤澤 直樹(消化器)	小飯塚 仁彦(消化器) 酒匂 赤人(消化器) 板倉 由幸(消化器)	上村 直実(消化器) 伊藤 光一(消化器)	矢田 智之(消化器) 池上 友梨佳(消化器)	小飯塚 仁彦(消化器) 鈴木 桂悟(消化器)	
	肝臓内科	正木 尚彦(肝臓内科) 青木 孝彦(肝臓内科)	溝上 雅史(肝臓内科) 村田 一素(肝臓内科)	大座 紀子(肝臓内科) 考藤 達哉(肝臓内科)	今村 雅俊(肝臓内科) 村田 一素(肝臓内科)	今村 雅俊(肝臓内科) 是永 匡昭(肝臓内科)	
循環器内科	一瀬 哲夫	田中 由利子・賀嶋 俊隆	黄 文慰	岡崎 修【第1/2/3】・原久男【第4】	小林 貴		
心 療 内 科	初診	辰島 啓太(午前)【予約制】		河合 啓介(10時～13時) 【予約制】	田村 奈穂(終日)【予約制】		
	再診	戸田 健太(午後)・石川 俊男(午前) 富田 吾敏【第2/4 午後】・河合 啓介	辰島 啓太・田村 奈穂 河合 啓介	小西 恵・知場 奈津子 町澤 理子	辰島 啓太	戸田 啓介(午前)・田村 奈穂	
	再診	本田和弘(午前) 竹内社介【第4】(午前・予約のみ)	休診	本田 和弘(午前)	休診	小澤 忠嗣(午前)	
	初診	本田 和弘(午後)		本田 和弘(午後)		小澤 忠嗣(午後)	
外 科 系	外科	熊澤 慶吾	稲垣 冬樹	岡田 憲樹 青柳 信嘉(エコー) 青柳 信嘉(内視鏡)【第1-3】	青柳 信嘉・小野 英哉斗・坂元 慧 遠藤 大昌(AMエコー) 熊澤 慶吾(AMエコー) 稲垣 冬樹(AMエコー) 岡田 憲樹(AMエコー)	遠藤 大昌	
	消化器外科	熊澤 慶吾	稲垣 冬樹	岡田 憲樹	青柳 信嘉・小野 英哉斗・坂元 慧	遠藤 大昌	
	肝臓・胆嚢・膵臓外科				青柳 信嘉		
	乳腺外科	熊澤 慶吾	稲垣 冬樹	岡田 憲樹	青柳 信嘉・小野 英哉斗・坂元 慧	遠藤 大昌	
	内視鏡外科	熊澤 慶吾	稲垣 冬樹	岡田 憲樹	青柳 信嘉・小野 英哉斗・坂元 慧	遠藤 大昌	
	ヘルニア外来	熊澤 慶吾	稲垣 冬樹	岡田 憲樹	青柳 信嘉・小野 英哉斗・坂元 慧	遠藤 大昌	
	ストーマ外来(完全予約制)						
	脳神経外科	大野 博康	大野 博康	休診	大野 博康	大野 博康	
	整形外科	初診 鈴木 弘仁 再診 新井 元	手術日	佐藤 章子【第1/3/5】 鈴木 弘仁【第2/4】	佐藤 章子 新井 元(再診予約のみ)	新井 元	
	皮膚科	佐久間 正寛	佐久間 正寛	佐久間 正寛	佐久間 正寛	佐久間 正寛	
	泌尿器科	浅野 桐子 交代制【第4】	吉田 賢	長濱 克志 足立 康久	長濱 克志 吉田 賢(10:30～)	足立 康久 吉田 賢(10:30～)	
	婦人科	山澤 功二	休診	張士貴【第1】・柳谷 法生【第2】 高本 真勢【第3】・山澤 功二【第4】	是澤 光彦	休診	
	眼科	初診 小池 優佳 再診 山崎 廣子	小池 優佳 柴 玉珠・大原 むつ	山崎 廣子	藤本 尚也 山崎 廣子	芳田 奈津代 柴 玉珠	
	養護外来			山崎 廣子(午後)			
	耳鼻咽喉科	須田 稔士(午前) 原 治(午後・予約のみ)	原 治	三瓶 紗弥香(午前) 原 治(午後・予約のみ)	原 治	水成 陽介(午前) 原 治(午後・予約のみ)	
	麻酔科・ペインクリニック	休診	東 俊晴(予約制・再診のみ)	東 俊晴	休診	東 俊晴	
	心臓血管外科	賀嶋 俊隆	休診	秋田 作夢	休診	秋田 作夢	
	ペースメーカー外来	PM賀嶋 俊隆【第3 予約制】	休診	休診	休診	休診	
	救急科	賀嶋 俊隆・長島 彩子 茂木 紗織	賀嶋 俊隆・長島 彩子 茂木 紗織	賀嶋 俊隆・長島 彩子 茂木 紗織	賀嶋 俊隆・長島 彩子 茂木 紗織	賀嶋 俊隆・長島 彩子 茂木 紗織	
	精 神 科	初診	第1・3・5 曜日 第2・4 曜日	中野 知恵子 榎本 哲郎	水田 康彦 伊藤 寿彦	佐藤 護 中島 常夫	吉見 太郎 柳澤 雄太
再診		① 診	草西 俊	榎本 哲郎	吉見 太郎	草西 俊	草西 俊
		② 診	伊藤 寿彦		中野 知恵子	草西 俊	中野 知恵子
		③ 診	早川 達郎	吉見 太郎	早川 達郎	草西 俊	伊藤 寿彦
		④ 診	塚田 和美	中島 常夫	水田 康彦	水田 康彦	中島 常夫
		⑤ 診			榎本 哲郎	榎本 哲郎	塚田 和美
		⑥ 診					
		⑦ 診	柳澤 雄太	佐藤 護		佐藤 護	柳澤 雄太
特診(予約制)	精神科予診	精神科予診		精神科予診(午前)			
睡眠障害専門外来 (完全予約制)			初診予約は12名/月まで。電話予約が必要 ※8		早川 達郎(⑥診)		
児 童 精 神 科	初診	毎週月曜日 対象者 中学生(15歳)以下 電話予約(水曜日10:00～12:00)が必要					
	(予約制)再診	黒江 美穂子・宇佐美 政英 牛島 洋景・福岡 久美	黒江 美穂子・牛島 洋景 岩垂 喜貴・福岡 久美	宇佐美 政英・牛島 洋景 岩垂 喜貴・福岡 久美	黒江 美穂子・宇佐美 政英 岩垂 喜貴・福岡 久美	黒江 美穂子・宇佐美 政英 牛島 洋景・岩垂 喜貴	
	放射線科	待鳥 詔洋 宮田 陽子	待鳥 詔洋 宮田 陽子(午前のみ)	待鳥 詔洋 宮田 陽子	待鳥 詔洋 宮田 陽子	待鳥 詔洋	
歯 科	放射線核医学		内野 三葉子(完全予約制)	内野 三葉子(完全予約制)	内野 三葉子(完全予約制)	内野 三葉子(完全予約制)	
	放射線治療						
初診(予約制)	友田 衣早佳	友田 衣早佳	友田 衣早佳	友田 衣早佳	友田 衣早佳		
再診(予約制)	金丸 拓矢	金丸 拓矢	金丸 拓矢	金丸 拓矢	友田 衣早佳		

(注) 1. 外科及び整形外科の担当医は、手術などの都合で変更(交替)になる場合があります。

*** 初診受付時間：8時00分～11時00分 * 再診受付時間：8時00分～11時00分**

- ※ 1 感染症内科を受診される方は事前に感染症内科へご相談ください。(平日のみ。水曜日は除く。)
- ※ 2 フットケア外来は完全予約制です。糖尿病内分泌科外来にて受け付けます。
- ※ 3 心療内科：初診は完全予約制 電話受付時間は平日16～17時まで、又は平日心療内科外来窓口にて受け付けます。
(心療内科外来に半年以上来院していない場合は、再診ではなく初診となります。)
- ※ 4 脳神経内科：初診・再診ともに完全予約制
- ※ 5 外科：スキンケア外来は完全予約制で外科外来窓口にて受け付けます。(第2.4.5 木曜日・第1.3金曜日)
- ※ 6 精神科：初診は1日 4名迄(先着順) + 予約枠 2名(電話予約受付時間は月・火・木・金(水)のぞく)の14時～16時迄、又は平日精神科外来窓口にて受け付けます。)
- ※ 7 睡眠障害専門外来の初診予約受付は電話のみ(047-372-3501)、当月の予約は前月の平日1日16時から受け付けます。(1日が土日祝日の場合は翌平日となります)
- ※ 8 児童精神科：初診予約受付は電話のみ。受付時間は水曜日10時～12時迄受け付けています。
- ※ 9 歯科外来：初診は予約制です。電話受付時間は平日16-17時 歯科外来にて受け付けます。
- ※ 10 リウマチ・膠原病科：不明熱外来を水曜日・木曜日の午前中に開いております。完全予約制で受診には診療情報提供書(紹介状)が必要となります。